

令和6年度全国学力・学習状況調査における幸田町児童生徒の結果について

令和6年12月

1 調査の概要（令和6年度実施分）

- (1) 調査期日 令和6年4月18日（木）
- (2) 対象学年・人数 小学校6年 447名、中学校3年 399名 ※悉皆方式
- (3) 調査項目
 - ① 教科 小学校：国語、算数 中学校：国語、数学
 - ② 学習・生活習慣等の状況調査（質問による）

2 幸田町全体の傾向について

(1) 教科の状況

本町児童生徒の傾向について、全国と比較をしました。

(全体の結果概要：小学校)

国語については努力を要する状況にあると言えます。算数については全国よりよくできています。

(全体の結果概要：中学校)

国語については努力を要する状況にあると言えます。数学については全国よりよくできています。

(中学校3年生生徒が小学校6年生であったときの比較)

現中学校3年生が小学校6年生であった令和3年度と比較しました。

小学校6年生であったときは、算数においては「数と計算」「図形」「測定」がよくできている状況であり、国語においては、努力を要する状況でした。

その児童が中学校3年生となった今年度、国語においては「話すこと・聞くこと」が努力を要する状況であり、数学においては「データの活用」がよくできており、それ以外の内容もできている状況でした。

(各教科の学習領域での結果)

全国の状況と比較し、各教科の学習内容で、「よくできていた内容」「課題がある内容」の主な内容を示します。

◎ たいへんよくできている内容 △ 努力を必要とする内容

【小学校6年生】

国語	◎人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 ◎文の中における主語と述語との関係を捉えることができる。 △目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。
算数	◎角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できる。 ◎除数が小数である場合の除法の計算をすることができる。 △折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できる。

【中学校3年生】

国語	◎短歌の内容について、描写を基に捉えることができる。 ◎文脈に即して漢字を正しく書くことができる。 △必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができる。
数学	◎等式を目的に応じて変形することができる。 ◎簡単な場合について、確率を求めることができる。 △連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができる。

(2) 学習・生活習慣等の状況（質問より）

学習・生活習慣（質問内容）と正答率との関係进行分析しました。質問内容に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはあまる」とする回答率の高かったものに加え、全国と比較して回答率が高かったものを対象としました。その主な内容を示します。

- | |
|--|
| ○質問内容と正答率の相関関係が見られたもの
・質問内容への回答率及び全国と比較して回答率が高かったもの |
|--|

(小学校の学習・生活習慣等の状況と正答率について)

- 朝食を毎日食べていますか
 - ・毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
 - ・人が困っているときは、進んで助けていますか
 - ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
 - ・友達関係に満足していますか
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか
- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか
 - ※分からないことがあった時に、すぐ調べることができる
- 5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか
 - ※画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
- 国語の勉強は大切だと思いますか
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 算数の勉強は好きですか
- 算数の勉強は大切だと思いますか
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
- 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか
 - ・英語の勉強は大切だと思いますか

(中学校の学習・生活習慣等の状況と正答率について)

- 朝食を毎日食べていますか
- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
 - ・人が困っているときは、進んで助けていますか

- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） ※1時間以上
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） ※2時間以上
- ・あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）
- ・1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか
 - ※分からないことがあった時に、すぐ調べることができる
- ・国語の勉強は大切だと思いますか

この分析より、「本町の子どもよさ」として次のような姿が浮かんできました。

- 規則正しい生活をし、相手のことを思い、人の役に立ちたいと願う子ども
- ICT機器を有効活用し、調べ学習のできる子ども
- 小学校では意欲的に学習に向かい、中学校になると平日、休日に決まった時間勉学に励む子ども

一方で、質問内容への回答率及び全国と比較して回答率が低かったものとして、次の点が小学校と中学校に共通して明らかとなりました。

- ・普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く） ※1時間以上
- ・小学校5年生まで（中学校1、2年生のとき）の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか
 - ※自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる
 - ※友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる
 - ※友達と協力しながら学習を進めることができる
- ・小学校5年生まで（中学校1、2年生のとき）に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

3 調査結果を受けて

この結果は、幸田町全体の傾向であり、各学校によって結果や課題は異なっています。

幸田町全体の傾向としては、「国語は好き、大切」の質問に対して、いずれも全国より低い数値となっています。一方で「算数・数学は好き、大切」の質問に対して、いずれも全国より高い数値となっており、それが全国と比べた算数・数学の平均正答率の高さにつながっています。今後は、学習の中でのICT機器の効果的な利活用も含めて、児童生徒が「勉強は好き、大切である」と感じられる取り組みになるように工夫することで、更なる学習意欲や学力の向上が期待できます。

幸田町教育委員会は、これまで通り、町全体の分析結果や指導改善のポイントを、文部科学省分析資料や愛知県教育委員会配付資料とあわせて各校に周知し、授業改善に活かせるようにしています。また、少人数指導や現行学習指導要領における授業力向上のための研修など、環境整備も継続して進めていきます。

同時に各学校も結果を分析しています。そして、各学校の課題を明らかにし、子どもの実態に応じた授業改善を図っています。

家庭においては、子どもの学力の状況を知るとともに、普段の生活から見通しをもった取組や前向きな生活習慣の確立を図るなど、子どもが学習に対して意欲をもって取り組むことができるような励ましをお願いします。

この調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語と算数・数学について調査したものです。この調査で測定できるのは、学力の特定の一部です。子どもの学力や生活のすべてを表しているわけではありません。そのことを十分踏まえたうえで、調査結果を今後の指導に活かしていきたいと考えています。

問い合わせ先 幸田町教育委員会学校教育課 学校指導G
Tel 0564-62-1111 (内線424)